

弁護士法人福岡法律事務所

代表弁護士福岡則博、弁護士尾崎悠吾、弁護士松村隆志

〒665-0845 兵庫県宝塚市栄町2丁目2番1号ソリオ3(5階)

TEL: 0797-87-5606 FAX: 0797-87-7160

HP: <https://www.fukuma-law.com/>

Mail: office@fukuma-law.com

執筆: 弁護士福岡則博



Legal F : Forces for Friends, Families and Fortunes (友人、家族、財産を守る力)

「会社を救うプロ士業 会社を潰すダメ士業 ～税理士・公認会計士・行政書士・社労士・司法書士・ 弁護士の選び方、使い方」

(横須賀輝尚著 さくら舎 2020年)

1 本書は、士業と言われる専門家について、これを本物の「プロ士業」と単に資格を持っただけの「士業」とに分け、前者を「金のなる木」として、その選び方・使い方を説明したものです。いわば、**士業ユーザーのための選別利用マニュアル**と言うべきものですが、著者は、士業専門の経営コンサルタントであり、自身が特定行政書士と言う資格を持つ人でもあります。要するに、士業と言われる人の中には、プロ士業というべき人とそうでない人がいることを熟知した著者が、一般のユーザーのためにその見分け方を教えたものです。士業者との関係ではある種の秘密を暴露したものとして背信的ではありますが、その内容はユーザーにとって利益をもたらすものであることから良心的であり、さらにそれは士業内淘汰をもたらす士業全体のレベルを向上させるものとして公益的であります。いささか大げさですが、本書はそんな風にも位置づけられるかもしれません。

2 では、単なる「士業」と「プロ士業」はどう違うのでしょうか。著者は、「同じ士業でも実力差はとんでもなく開きがある」と断定した上で、単なる「士業」は「**手続代行者**」に過ぎず、法律で定められた法定業務しかせず、提案ができず、言われたことだけをやり、相談には乗ってくれるが、相談しなければ何もせず、自分の意見を言わない人であるとし、これに対し、「**プロ士業**」は、「**高度な案件を考えて判断できる人**」であり、**確固たる専門領域があり、積極的な提案ができ、高難度業務をこなせ、法定業務を超えたコンサルティング業務ができ、案件に対して自分の判**

断を述べ、逃げない人であるとしています。要するに、ありきたりな意見を述べるのではなく、専門的な知識と経験に基づいて責任を持って一歩突っ込んだ意見を述べる人可以人ということでしょう。

3 次に、このような「プロ士業」をどうやって、見極めるのが問題となります。いろいろ述べられていますが、**結局は、「仕事を頼んでみないと、実力はわからない」という結論**であり、それでは答えになっていないということになりますが、著者は、**いくつかのコツ**を述べていますので、その一部を紹介しておきましょう。

- ① 「**最終的に案件について、先生のご意見を頂けますか?**」という質問をすることです。プロ士業であれば、困難な問題についても、「あなたの会社のことを考えて、自身のリスクを顧みずに自分の判断を言えるのであり、最悪の状態も当然想定した上での判断をします」としています。
- ② **小出しの依頼と短期契約**です。小さな依頼をして、対応スピード、回答内容などを吟味して、その実力を見極めればよいとしています。
- ③ 「**徹底的にプライドをくすぐれ**」としています。士業の人は人生かけて難関試験を突破しており、プライドの高さは超一級であるから、「褒めて伸ばす」のがよいとしています。おだてに乗りやすいということでしょう(笑)。

4 最後に、著者は**士業の報酬**について、「**値引きをしてはならない**」としています。「もしあなたが士業に依頼するならば、報酬額にフォーカスするのではなく、結果に注目すべき。高い報酬を支払い、その報酬を超える結果を士業に出させる。そのためには、安い報酬ではなく、高い報酬を支払うべきです」とします。どうやら、これが、士業を使い倒せとする本書の薦める最強の士業利用マニュアルのようです(笑)。